

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	メディアセキュリティ特論		
英文授業科目名			
開講年度	2006年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	吉浦 裕		
居室	西6 - 611		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>本科目の主題は、ITCを安心して利用可能とする情報セキュリティ技術について以下の観点から深く理解することです。</p> <p>(1) リスクを発見・分析し、合理的な対策を立てるというセキュリティのセンス</p> <p>(2) セキュリティ対策を考える中で新しい技術課題を見つけるという研究のセンス</p> <p>(3) セキュリティ技術の基礎</p>

【前もって履修しておくべき科目】
<p>H科学生の場合はコミュニケーションネットワーク</p> <p>他学科生の場合は、ネットワークおよび暗号、セキュリティ関係の学部科目</p>

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
<p>数学，プログラミング，情報社会論</p>

【教科書等】
<p>授業開始時に指示します。</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

- (1) 最初の数回はイントロとし、教員が身の回りのトピックを取り上げて、そこに存在するリスク、可能なセキュリティ対策、そこから生まれる技術課題について紹介し、皆で議論します。
- (2) その後は、受講者のグループまたは個人がトピックを受け持ちます。各グループが、担当トピックについて調査・分析し、リスク、対策、技術課題について発表します。それに基づいて皆で議論します。
- (3) その間、数回にわたって、暗号、電子署名、電子透かしについて、専門的な講義をします。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- (1) 成績評価方法
授業参加度およびレポートにより評価します。
- (2) 評価基準
出席率が所定以上であること、割り当ての発表すること、レポートに自分個人の調査・分析内容があることの3点とします。

【オフィスアワー：授業相談】

電子メールで随時受け付けます。

【学生へのメッセージ】

トピック研究については、参加者が身の回りから、あるいは、マスコミ情報などを通じて、自分で面白いトピックを見つけることを期待します。講義については専門的な内容とします。

【その他】